# 森田 泰斗 (もりたたいと)プロフィール

「人の"見えない枠"を外し、才能を開花させる」人材育成の専門家 教育・経営・グローバル実践から導く「自己肯定感」と「人間力」の覚醒

株式会社森田グループ 代表取締役/こどもスクール塾長一般社団法人 伝統教育地域推進協会 代表理事 Morita Group Vietnam JSC. 代表取締役



### ■ プロフィール

愛知県豊橋市出身。

大学卒業後、外資系コンピュータ総合総社にてシステムエンジニアとして勤務。

その後、独立して画商として活動し、数多くの人と関わる中で「人は感性で動く」という学びを得る。 論理と感性、両方の視点(左脳と右脳)を生かした教育を実践するため、教育の道へ。

その後、愛知県豊橋市で学習塾「森田塾」を運営し、十数年にわたって複数教室を展開した経験を経て、愛知県と静岡県を中心に、そろばんとかきかた書道の教室「こどもスクール」を設立。

現在では直営で約100教室を展開し、単なる能力向上にとどまらず、そろばん・かきかた書道を通じてこどもたちが感じる「できた!」という喜びを何より大切にしている。

その小さな成功体験を積み重ねることで、こどもの自己肯定感を育てる教育を実践している。

この理念は、教える立場である講師の育成にも生かされている。

10年以上にわたり、講師自身が自分を認め、成長を楽しみながら、「目の前の生徒や保護者を幸せに導く」ための実践的な研修を続けており、"自ら育ち続ける組織文化"を築いてきた。

また、ベトナム・ハノイでは日本式そろばん教室を開校し、"自分を信じる力"を育てる教育活動を世界へと広げている。

近年は、「こども哲学対話」にも活動の場を広げ、「自ら考え、伝え、多様性を理解する」ことで、自己肯定感を育てる取り組みを行っている。

さらに、国内外の経験から「多文化共生」をテーマにした授業を実践。国や世代の垣根を越え、 人が自ら考え、枠を超えて成長していくための教育活動に情熱を注いでいる。

【著書】『ひらめきと直感力を鍛える本』(同文舘出版) 右脳と潜在意識を活かす思考法を提唱。 「論理」だけでなく「直感」や「感性」を活かす生き方への指針が、 AI時代を生きるビジネスパーソンや教育関係者から高い支持を得ている



#### ■ 森田泰斗の核となる理念

森田が目指すのは、人々が自らの可能性を制限している「見えない枠」から解放されることです。 親、学校、社会、文化によって無意識に作られた「価値観の枠」は、時にそれが幻であることに気づか せず、人の才能を閉じ込めてしまいます。

その「枠」を取り外し、「誰もが自らの才能に気づき、輝き出すこと」こそが、幸せで調和のとれた社会の実現につながると確信し、そのための「気づき」の場を提供し続けています。

#### ■ 講演・研修の特長:『体験』と『気づき』による変革

森田の研修は、一方的な「講演」ではありません。教育・経営・異文化理解の最前線で培ったリアルな体験談に加え、「体験型ワークショップ」と「対話(哲学対話)」を最も重視していす。 "教えすぎない"ことが人を育てます。

参加者自らが「体験」し、他者と「共有・共感」し、自らの内側から「気づく」プロセスを設計。 理論を学ぶだけでなく、明日から実践できる具体的な行動変容と、視野・視座・意識の拡大を促し ます。

参加者からは「理論がわかりやすく実践的」「心に響く言葉に涙が出た」「教育や人材育成の原点を思い出した」と、心が前向きに動く体験に多くの反響が寄せられています。

#### **■ 主な講演・研修テーマ(ご要望に応じてカスタマイズ可能)**

【基幹テーマ】「あなたの中の『見えない枠』を外す技術」

・なぜ人は自分の可能性を閉ざすのか? 才能を開花させる意識の変革法(ワークショップ)

【組織・人材育】「自ら育つ組織を創る『気づき』の人材育成術」

・"教えすぎない"が鍵。社員とこどもの自己肯定感を爆発的に高める関わり方

【経営・チーム】「自己肯定感が育つチームビルディング」

・ほめ方・��り方の工夫で、組織が生き生きと動き出す「信頼」の作り方

【思考・感性】「ひらめきと直感力が拓くAI時代の人間力」

・論理を超える「感性」と「右脳」を活かした新しい働き方・生き方

【教育・保護者】「こどもの自己肯定感を育てる右脳教育」

・そろばん教育の実践から学ぶ、こどもの「できた!」を引き出す言葉がけ

【多様性・グローバル】「多様性と"人を尊重する"生き方」

・アメリカでの少年期、ベトナムでの教育活動から学んだ多文化共生と信頼関係の構築

### メッセージ

人は、誰かに「信じてもらえた」ときに大きく変わります。

教育も人材育成も、根底にあるのは"人への信頼"です。

知識よりも、心をどう育てるか。

効率よりも、どれだけ相手の可能性を信じられるか。

私の講演・研修では、教育現場でのリアルな経験や、企業での実践例を交えながら、「枠」を取り外し、人が自らの力を信じて前に進む"決定的な瞬間"を、実践的なワークを通して皆様と一緒に創り上げていきます。

#### 【著書】

『ひらめきと直感力を鍛える本』 (同文舘出版) 【 趣味・好きなこと】

瞑想、料理、読書、絵画鑑賞(画商としての経験有) 好きな映画は「ロッキー」シリーズ。

# 【 講演・セミナータイトル例】

講演テーマは【教育】【企業】【国際】の3つに分かれます

## ● 教育(保護者・PTA・教育関係者向け)

- 1、できた!が未来を変える ~子どもの自己肯定感を育てる教育~ 小さな成功体験が、子どもの自信と人生を大きく変える。森田式・心を育てる教育論。
- 2、人が育つ瞬間 ~"信じる"という教育の力~ 人は教えられて伸びるのではなく、信じられて伸びる。教育と人材育成の原点を語る。
- 3、こども哲学対話が育む、考える力と伝える力 「正解のない問い」を語り合う中で育つ、思考力と自己肯定感。教育現場で広がる新しい対話の形。
- 4、幸せな子育て〜自信と勇気を育む親子の関わり〜 子どもを伸ばすのは、特別な教育ではなく日々の声かけ。親が変わると子どもが変わる。
- 5、未来をつくる「信じる力」 ~子どもも大人も変わる自己肯定感の育て方~ 人が本来持つ「信じる力」を引き出すことで、子どもも大人も変わりはじめる。 自己肯定感が人生にもたらす変化と、その具体的な育て方を語ります。

# 企業(経営者・人事・ビジネスパーソン向け)

- 6、右脳と思いやりがつくる、新しい人材育成 AI時代にこそ求められるのは、論理より「感性」と「共感力」。右脳教育から学ぶ人づくりの本質。
- 7、ひらめきと直感力が導く、これからの時代の生き方 予測不能な時代を生き抜くために必要なのは、知識ではなく"感じ取る力"。自分の感性を信じる方法。
- 8、教えすぎない勇気 ~自ら育ち続ける人と組織~ 成果主義の先にある"信じて任せる教育"。自ら考え行動する人を育てる関わり方
- 9、右脳思考で変わる!AI時代の仕事術と発想力 正確さより柔軟さ、論理より直感。右脳の力を生かした新しい働き方のヒント。

# **(4)** 国際(多文化・グローバルテーマに関心のある方向け)

- 10、多文化共生 〜国や世代をこえてつながる教育〜 ベトナムと日本の架け橋として見えてきた、"違い"を力に変える学びのあり方。
- 11、外国人材と"共に働く"ということ ~多文化の中で人が育つ職場とは~「教える」ではなく「共に学ぶ」姿勢が、信頼と成長を生む。 ベトナム人材との共育の現場から見えた"共に働く"時代のヒント。
- 12、違いを受け入れる勇気、伝える優しさ ~多文化共生が育てる日本人の新しい力~ 文化の違いは壁ではなく、学びの入り口。 ベトナムの若者たちとの交流から学んだ「伝える力」「聴く力」の大切さ。

### 【主な講演実績】

- ◎教育関係
- ・愛知教育大学「ポジティブ思考の授業術」(2010)
- ・徳島県学習塾協会「教えすぎない勇気」(2019)
- ◎自治体·PTA·教育団体
- ・豊橋市・浜松市・岡崎市各地での子育て講演会(2012~2024)
- · 豊橋市立石巻小学校「多文化共生」(2024)
- ◎企業・経済団体
- ・豊橋商工会青年部「授業力向上セミナー(ビジネスパーク)」(2013, 2014)
- ・豊橋青年会議所「自立した社会人になるための3ステップ」(2018)
- ・長野県電気工事業界「2030年へ向けた企業成長戦略と外国人人材活用」(2021)
- ・企業研修「ひらめきと直感力が導く、これからの時代の生き方」(2015)
- ◎国際・異文化
- ・ベトナム各地の教育機関にて講演(2023~2025)
- ・ハノイ教育大学/Le Quy Don小学校(2024)
- ・ベトナム国家大学(VNU University of Education)創立25周年記念・基調講演(2024)
- ・ハノイ師範大学「これからの時代に必要な右脳開発とそろばん教育」(2025)

## 【講演スタイル】

- ・「体験と気づき」を重視した参加型講演
- ・交流と共感を交え、心に残るメッセージ
- ・教育現場・企業研修・保護者会・行政研修など、目的に合わせたカスタマイズ対応

## 【主な講演対象】

- 教育機関(教職員・保護者)
- ·企業 · 人材育成部門
- · 自治体·教育委員会· PTA
- ・学生・若手社会人

#### □■■講演依頼・お問い合わせ】

株式会社森田グループ

講演依頼窓□:

所在地:愛知県豊橋市八町通2丁目17